

## 先人たちに感謝し、「進化」に貢献を

『長崎伝習所』は、幕末に多くの人材を輩出した「海軍伝習所」「医学伝習所」などに由来し、昭和 61 年に設立して以来、人材のネットワークづくりと地域の活性化につながる人材育成の場として、様々な取り組みを行ってきました。



長崎伝習所の柱である『塾事業』では、長崎のためを思い、これまでに 300 もの塾が様々な活動を行い、卒業した塾生の総数は昨年度 1 万人を超え、設立 37 年目となった今年、延べ 10,203 人となりました。

多くの塾から様々な自主活動グループが生まれ、卒業後もそれぞれの活動を続けられ、その「市民力」を発揮して、長崎のまちづくりに貢献していただいています。

新型コロナウイルス感染症の影響が続き活動の制約があるなか、令和 4 年度に活動した 6 つの塾では、長崎の歴史や子育て、文化、自然など各分野において、その未来にも着目した幅広いテーマで調査、研究され実践活動に取り組んでいただきました。

各塾の成果は、4 年振りの開催となった 3 月の「伝習所まつり」で発表していただき、6 つの塾のほか伝統工芸塾や卒業後も活動を続けられている 12 の塾を加え計 18 の塾に参加をいただき盛大に開催でき、街中も久々の賑わいで活気づき大変うれしく思いました。

また、元 NHK 会長の福地茂雄さんのプロデュースのもと、様々な分野で活躍されている講師の方々をお招きし開催している「自分新化講座」は、出島メッセで 1 回の講座を開催し、多くの皆様にご参加いただきました。

長崎伝習所では、今後も時代の変化に対応しながら、長崎に住む人も、訪れる人も、幸せを感じるまちにするために、様々な活動を続けるとともに、これまで長崎の礎を築き、支えた先人たちに感謝し、100 年に一度といわれる長崎のまちづくりの「進化」に貢献していきたいと思えます。

最後になりましたが、塾長をはじめ塾生の皆さまのご努力と、お忙しいなかご指導いただきました運営委員の皆さま、並びに、長崎伝習所の活動にご協力をいただきましたすべての皆さまに対しまして、心から厚く御礼申し上げます。

長崎伝習所 総長 田上 富久

## 運営委員からのメッセージ



●運営委員 座長 河村 規子

皆さん、1年間お疲れ様でした。

まだコロナの影響も残る中で、思うように活動ができなかった部分もあるかと思いますが、どの塾も熱心に活動を続けてこられ、結果的に素晴らしい成果を見せていただきました。

1年間の活動を活かしつつ、形を変えながらも継続して活動を続けていただくことが、長崎の明るい未来につながるものを信じています。

皆さんのさらなるご活躍を期待しています！



●運営委員 阿部 美和子

「好き」をキーワードに繋がり、一步を生み出した自分にブラボーを！

手探りの一步から始まった楽しい時、大変な時を十人十色の絶妙なバランスで乗り越えゴールで見た最高の笑顔を運営委員として見られたことは感謝しかありません。

伝習所の旗印のもとにまちづくりのプレイヤーとして100年に一度の大変革のマチに様々なアクセントを作り出した塾生の皆さんは最高です。

本当にお疲れ様でした！

そしてありがとうございました！



●運営委員 坂口 太一

各塾の皆様、一年間大変お疲れ様でした。今年度、長崎伝習所に初めて運営委員として携わらせていただきましたが、長崎を盛り上げるため、それぞれ熱い思いを持った市民の皆様がたくさんいらっしゃることに大変感銘を受けました。各々の活動が今後も継続され、多くの皆様が積極的に長崎のまちづくりに寄与されることを期待しております。一年間本当にありがとうございました。長崎伝習所の今後益々の発展を心より願っております。



●運営委員 森 恭佑

長崎伝習所を振り返れば、改めて長崎には多様な「テーマ」が混在していることを痛感します。そしてその各テーマを愛で、この指とまれで塾長の元に集まってきた塾生皆さんのエネルギーと探究心たるや。それだけ市民を強く惹きつける魅力が、まちのなかに溢れているということなのでしょう。新しい楽しみ方を覚えた市民は、新しいムーブメントをつくることができます。これからも長崎を舞台に、より一層輝いてください。



●運営委員 渡邊 暁生

前年度から継続した子育て、文芸の各テーマに加え、ゆかりの海外と交流を深化、街全体を芸術表現の場に、夜の繁華街に活力を、坂の町の乗り物事情は観光資源一など、塾ごとの多彩な切り口が輝いた1年間でした。改めて塾長、塾生の皆さんの取り組みに敬意を表します。長崎を明るく盛り上げようという皆さんの熱意に、私自身も大いに励まされました。今後とも活動で得た知見と人の輪で、長崎を盛り上げていただけたらと願います。